



Southeast Asia

Trade and Cultural Exchange Connecting East and West



All exhibits with English explanations.

東南アジア ～ 交易と交流の海～



2023年10月4日(水)～ 2024年1月14日(日)



日本最大級の本の博物館



東洋文庫ミュージアム

主催 ◆ 公益財団法人 東洋文庫、日本経済新聞社
後援 ◆ 外務省、日本アセアンセンター、JICA東京

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21 TEL: 03-3942-0280

入館料 ◆ 900円(一般)・800円(65歳以上)・700円(大学生)
・600円(高校生)・中学生以下無料

アクセス ◆ 駒込駅 (JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口) 徒歩8分
千石駅 (都営地下鉄三田線A3番出口) 徒歩7分
都営バス上58系統・茶51系統「上富士前」徒歩1分

開館時間 ◆ 10:00～17:00 ※最終入館は閉館の30分前まで。

※11月15日(水)は14時最終入館、15時閉館とさせていただきます。

休館日 ◆ 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は翌平日)、12月28～1月2日

記載の予定は変更、中止となる場合がございます。

当館のホームページにて最新の情報をご確認ください。

東西をつなぐクロスロード

2023年、日本とASEAN（東南アジア諸国連合）は友好協力50周年を迎えます。東西を結ぶ海洋交易の中継地であった東南アジアでは、古くから各地の人、物、文化との交流、接触がみられました。現代の日本人にとっては、ビジネスや観光、特色ある料理のイメージが浮かびやすいかもしれません。本展では、日本にとって重要な地域でありながら、意外に知らないことが多い東南アジア諸国の歴史と魅力あふれる文化、日本との関わりなどについて、「交易」と「交流」を軸に、親しみやすい観点からご紹介します。



オランダのアジア貿易の中心拠点・バタヴィア(ジャカルタ)
『新旧東インド誌』 ファレンタイン 1724-26年 ドルトレヒト、アムステルダム刊



歴史的に有名な香辛料の産地
『モルッカ諸島図』 サンソン 17世紀



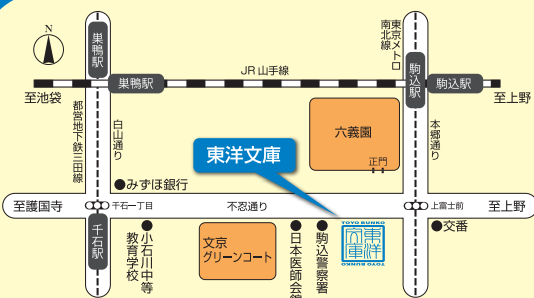
夕日が沈むタイの水辺
『世界周航画集』 ヒルデブラント 1871-74年頃 ベルリン刊



壮麗なアンコール遺跡
『インドシナ探検行』 フランシス・ガルニエ、ルイ・ドラポルト 1873年 パリ刊



日本人漂流民が見た東南アジア
『南洋漂流記』 1830年頃 (江戸時代)



交通案内：
駒込駅 (JR 山手線南口、東京メトロ南北線 2 番出口) 徒歩 8 分
千石駅 (都営地下鉄三田線 A3 番出口) 徒歩 7 分

東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-28-21
TEL : 03-3942-0280
<http://www.toyo-bunko.or.jp/museum/>

◆あわせてご利用ください

*ミュージアムショップ
「マルコ・ポーロ」
(10:00 ~ 17:00)

*レストラン
「オリент・カフェ」
(11:30 ~ 21:30)
03-3942-0400

ご予約の際はレストランに
直接お電話ください